



I-OWA マンスリー・セミナーより

「人生成功の方程式」

講演: 新 将命、レポーター: 川元 由喜子

成功とは何でしょうか。私はこのような定義を考えました。

「成功とは、自分にとって意義のある目標を事前に設定し、段階を追って達成するプロセスである。」

自分自身が意義を認めること、そして一つひとつプロセスを経ること、これらがキーワードで、出世とは異なるものです。私のこれまでの経験で分かったのは、成功する人間には共通点が多いということ。成功する原理原則というものがあるのです。それを簡単な方程式に表しますと、

$$\text{成功} = \{ \text{情熱} + \text{スキル(仕事力)} + \text{マインド(人間力)} \} \times \text{運}$$

一つひとつに序列をつけると、情熱が2番、仕事力が4番、人間力が3番、したがって運が1番となる。どんなに大きな数でも「×ゼロ」なら答えはゼロ。「運の無い人は諦めましょう」というのが今日の結論なんです。

仕事力のうち、機能的、専門的能力については、4つの型に分類できます。職人肌の一点深堀型、ジェネラリストの幅広浅掘型、「プロ」と言われる人は幅広一点深堀型、経営者になる人は深堀型の専門性に経営力・リーダーシップが加わって、幅広二点深堀型です。今日の自分は何型か、なりたい自分は何型か。このギャップを埋める作業が自己啓発です。成功する人は自己啓発をやっています。



仕事力の中には、そのほか普遍的な能力というのがあって、特に重要なのは人間関係能力でしょう。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

周りが敵ばかりでは上手くいきません。成功する人というのは人柄が良いものです。そのほか財務リテラシーや語学力も必要です。

仕事力の次は情熱、次いで人間力です。人間は二割が生まれつき、残りの八割は変えることができる。尊敬される人間になるための「人間力」は作ることができるんです。そのために一番重要なのが「情熱」です。自ら情熱の火を燃やすことのできる自燃型の人間はせいぜい 10%、どうしても燃えない不燃型や、周りの火を消して回る消火型も居ますが、ほとんどの人は、マッチを擦ってもらって燃える可燃型です。そしてマッチの擦り方を知っている点火型の人間が 5%ぐらい。自燃型であると同時に点火型でもある人間が、通常は成功者なんです

では、自分の火を燃やし続けるためにはどうすればよいのでしょうか。その方法の一つ目は、人生に目的を持つことです。二番目の方法は、短期と長期の納得目標を追い続けること。一つ達成できたら新しい目標を作る。目標追求には終わりがありません。そして三番目は、点火型の人間と付き合うことです。これらを実行に移すことによって、活性度の高い人生を送ることができます。

そして成功するために一番大事な「運」。運の無い人は諦めましようと言いました。しかし運というのは、文字通り運んでくることのできるのです。運が良くなる方法は4つ。自分は運がいいと思いつけること、運気を分けてくれる人と付き合うこと、そして3人のメンター(師)を持つこと。メンターとは人生の知恵や生きる勇気を授けてくれる人。そういう人を持つと、転んでもまた立ち上がることができます。最後は平凡ですが、やはり学び続けることです。常に自分の価値を高める努力はすべきでしょう。

軽妙なジョークとダジャレ満載の講演は、この他にも、情熱を燃やし続けるための目標設定のヒントや、人間力を高める「自責」という考え方、とりあえず Yes と反応する「肯定」の態度など、実践的な教訓と指針も満載でした。